総合戦闘力を最大限に発揮

指揮幕僚活動の能力向上を図る

指揮官会議

火力集中点の修正を行う隊員

幕僚を指導する師団長

第１師団は２月14日から19日までの間、東部方面指揮所訓練センター、朝霞訓練場、各駐屯地及び東富士演習場において「令和２年度師団指揮所訓練」を実施した。

本訓練は、指揮所訓練統裁支援システムを用い た指揮所訓練により、師団司令部及び隷下第一次部隊の指揮及び連用能力の向上を図ることを目的として実施し、師団による陣地攻撃を演練した。

訓練は、第１偵察隊の前進から状況を開始し、第１普通科連隊が師団の先遣となり敵情を解明した後、第32普通科連隊及び第34普通科連隊の２コ連隊を並列して敵部隊を攻撃した。

師団は、指揮下部隊の現況を的確に把握して有形・無形の各種戦闘力を集中し戦闘を行った。

また、戦況の推移に伴い刻々と変化する状況に応じて、適時性、先行性のある幕僚活動を実施し、所望の成果を収めて訓練を終了した。

ＶＴＣでの火力調整会議

報告する各幕僚

ＶＴＣでの指揮官会議に参加する３４普連隊長

食事を作る隊員

テレビ会議により年頭の辞
年始行事で安全を祈願

達磨に目入れをする師団長

大庭師団長は１月12日、師団隷下部隊に対し、テレビ会議により年頭の辞を述べた。

師団長は「諸官と共に汗を流しつつ心を通わせ、諸官の先頭に立ち職務を全うする所存である。隊員諸官並びに日頃から諸官を献身的に支えて下さっているご家族皆様にとって希望に満ち溢れ、明るく充実した１年になることを心より祈念する」と力強く述べた。

その後、師団司令部は年始行事において達磨の目入れを実施し、安全を祈願するとともに、師団長は「今年のキーワードは〝本物〟の追求」と宣言した。

発行元
第1師団司令部
総務課広報班

第１師団
ホームページ
QRコード

師団長要望事項
楽しく全力を出そう！
喜んで全力を出させよう！

中隊等訓練検閲

第１普通科連隊

陣地構築中の重迫撃砲中隊

徒歩行進をする第３中隊

偵察活動をする情報小隊

患者を搬送する衛生小隊

第１普通科連隊は２月１日から12日までの間、東富士演習場において、教育訓練の成果を評価するとともに、その進歩向上を促すことを目的として第３中隊、重迫撃砲中隊、情報小隊及び衛生小隊の訓練検閲を実施した。

訓練検閲にあたり統裁官（小倉連隊長）は、「国民の期待に応えよ」、「生き残り、そして、だれも戦場に取り残すな」の２点を要望した。

受閲部隊は約40㎞の徒歩行進に引き続き、防御準備を実施し、第３中隊は防御における連隊内第一線主戦闘地域守備部隊としての行動を、重迫撃砲中隊は防御における第一線部隊に対する火力協力を、情報小隊は戦場監視網の構成・維持を、衛生小隊は患者の治療・後送を実施し、所望の成果を収めてそれぞれの任務を完遂した。

第６回連隊野営訓練を実施

第１後方支援連隊

整備用部品を展開する隊員

第１後方支援連隊は２月８日から11日までの間、練馬駐屯地及び東富士演習場において師団訓練検閲時の指摘事項の是正を図ることを目的として「第６回連隊野営訓練」を実施した。

練馬駐屯地においては、歩哨としての警戒監視及び患者搬送を演練した。

東富士演習場においては、約30㎞徒歩行進に引き続き、後方支援部隊が保有する全ての整備用部品、整備用工具を携行し、全力展開するにあたり、師団の作戦で使用する全ての工具をリスト化して実動による輸送及び展開要領について訓練し、所望の成果を得て本訓練を終了した。

患者搬送をする衛生隊

実射訓練検閲を受閲

第１特科隊

射撃を実施する隊員

第１特科隊は１月25日から27日までの間、東富士演習場において教育訓練の成果を評価するとともに、その進歩向上を図ることを目的として師団が実施する「令和２年度第１特科隊実射訓練検閲」を受閲した。

本検閲は「陣地防御における師団特科隊の火力戦闘」を主要検閲課目として実施し、訓練検閲開始にあたり、統裁官（大庭師団長）は「第一線の戦闘に最大限寄与せよ」と要望した。

１特は、様々な状況において、情報・観測、射撃指揮及び戦砲隊の総力を結集し、正確・迅速な射撃を繰り返して第一線部隊の戦闘に最大限寄与し、任務を完遂した。

本検閲に参加した第２中隊 小此木３曹は「陸曹昇任後、初めて照準手という大役を任され、不安であったが、経験豊富な砲班長の指揮の下、落ち着いて任務を完遂することができ、とても良い経験になりました」と話した。また、検閲までの訓練において先輩照準手の迅速な照準動作等、高い知識・技能を目の当たりにし、今後の目標を確立することができた。

弾薬を装填する隊員

第 32 普通科連隊　高所監視用ドローン操作手養成訓練を実施

練度判定に臨む隊員

操作要領を訓練する隊員

第32普通科連隊は２月１日から５日までの間、大宮駐屯地において連隊の情報収集力の向上を図ることを目的として「令和２年連隊高所監視用ドローン操作手養成訓練」を実施した。

32普連は、ドローンに関する基礎知識、関連規則の教育及び操作訓練を実施し、任務に即応できる操作要員を確保するとともに、各種運用場面における、ドローンによる情報収集要領を演練した。この際、連隊情報訓練との連接を図り、操作要員の育成を重視して行い、所望の成果を収めて終了した。

師団通信訓練に参加し通信構成能力を向上

第 34 普通科連隊

モールス信号による感度交換をする隊員

電報の送受信を実施する隊員

第34普通科連隊は２月24日から26日までの間、板妻駐屯地において通信交信練度及び通信構成能力の向上を図ることを目的として、師団が実施した「令和２年度師団通信訓練」に参加し、モールス信号を主としたＡＭ通信による交信要領について演練した。

34普連からは通信小隊の６名が参加し、１夜２日にわたりモールス信号による感度交換をはじめ電報の送受信等を行った。

通信手となった隊員は、必通の信念をもって集中力を維持して根気強く電報の送受信を継続し、所望の成果を得て本訓練を終了した。

第２回大隊訓練及び中隊等検閲

第１戦車大隊

戦闘前哨より離脱する第２中隊

通信アンテナを構成する通信小隊

第１戦車大隊は２月２日から８日までの間、東富士演習場において陣地防御に必要な築城能力の向上を図ることを目的として「第３回大隊訓練」を実施した。この際「第２中隊訓練検閲」、「通信小隊練度判定」を併せて実施し、教育訓練の成果を評価した。

第２中隊は車両行進後、速やかに集結地を占領、じ後、普通科連隊に配属され、戦闘前哨として戦車火力をもって主戦闘地域の前縁の秘匿・掩護に寄与するとともに、機動力を発揮して速やかに離脱し任務を完遂した。

通信小隊は車両行進後、迅速に大隊本部指揮所及び中継所を開設して通信を確立した。また、不審メール、電波妨害対応及び指揮所の移転を迅速に実施し、任務を完遂した。

第１中隊は師団施設科合同訓練に参加した隊員を中心に、演習場整備器材（ザウルス）及び戦車直接支援隊による重レッカの協力の下、戦車掩蓋掩体の構築を演練し、所望の成果を得て本訓練を終了した。

第３回師団施設合同訓練を実施

第１施設大隊

ＴＮＴ爆破薬による検証

指向性散弾を設置する隊員

第１施設大隊は、２月８日から９日までの間、東富士演習場において師団隷下部隊の陣地構築及び障害構成能力の向上を図ることを目的として「令和２年度第３回師団施設合同訓練」を担任・実施した。

陣地構築においては、地上設置型の掩体と簡易掩蓋掩体を構築し、砲爆弾の曳下射撃を想定したＴＮＴ爆破薬によりそれぞれの掩体を爆破し、掩護土層の強度及び交通壕の防護性について確認した。

また、障害構成においては、指向性散弾及び小型指向性散弾の効力範囲内に、鉄板及び木製の的を設置し、その威力を確認して今後の練成訓練の資を得た。

空地協同訓練に参加　空地連携能力を向上

第１高射特科大隊

通信アンテナを設置

対空目標の標示要領を演練する隊員

第１高射特科大隊は１月19日から20日までの間、駒門駐屯地等において第２高射特科群が実施する「令和２年度空地協同訓練」に参加した。

本訓練の目的は、関係高射特科部隊との協同による組織的な対空情報活動について演練し、運用の実効性を向上することであり、大隊は、師団対空警告・警報の送受信に併せた対空目標標示要領を演練し、対空戦闘能力の向上の資を得た。

第７回大隊訓練を実施

第１通信大隊

蛇腹鉄条網による障害を構成する隊員

電話回線を点検する隊員

第１通信大隊は２月25日から26日までの間、朝霞訓練場において警戒・自衛戦闘及び通信妨害対処要領について検証等を実施し、師団訓練検閲受閲時の指摘事項の是正を図ることを目的として「第７回大隊訓練」を実施した。

警戒・自衛戦闘は蛇腹鉄条網、有刺鉄線及び候敵資材を活用した通信所の防護要領を演練した。また、通信妨害対処要領は実際に妨害電波を発射し、通信妨害を受けた場合の器材の症状、端末装置への影響及び妨害対処手順を訓練し所望の成果を得て本訓練を終了した。

空地協同訓練に参加　搭載・卸下要領を演練
第１偵察隊

第１偵察隊は２月１日及び２日、ヘリボン作戦における、空地連携能力の向上を図ることを目的として、立川駐屯地、習志野演習場及び東富士演習場において東部方面航空隊及び第１飛行隊が実施した「令和２年度空地協同訓練」に参加した。

１偵は、本訓練において実機を用いた偵察用オートバイの搭載・卸下要領を演練して、今後の連携要領の資を得た。

ヘリに偵察用オートを搭載

ヘリから偵察用オートを卸下

第８回隊訓練を実施
第１特殊武器防護隊

第１特殊武器防護隊は２月２日から９日までの間、大宮駐屯地及び東富士演習場において、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作の練度の維持・向上を図ることを目的として「令和２年度第８回隊訓練」を実施した。

１特防は、大宮駐屯地において第１飛行隊と連携した空中モニタリング訓練や、施設内における化学活動を実施し、閉塞的かつ暗所での偵察・除染活動など実戦的な訓練を実施した。

また、東富士演習場においては重機関銃による実弾射撃を実施し、射撃練度の維持向上を図り、所望の成果を収めた。

重機関銃の射撃をする隊員

施設内で化学活動をする隊員

青梅市山林火災発生に伴う災害派遣
第１飛行隊

第１飛行隊は２月24日、東京都の災害派遣要請に基づき青梅市で発生した山林火災対処のため空中消火及び飛行統制を実施した。

１飛は、ＵＨ１Ｊを立川飛行場から青梅市へ推進し、空中消火の他、第１ヘリコプター団、消防・防災ヘリ等の活動に際して飛行統制を実施した。

本任務を実施した副操縦士高橋３尉は「初めての災害派遣でやや不安な点もあったが、飛行前におけるクルー間での実施要領の認識統一や安全管理事項の認識共有等を綿密に実施し、安全かつ確実に任務を遂行することができた。引き続き操縦練度の向上に精進したい」と話した。

出発前の点検をするパイロット

空中消火用バケットを準備する隊員

第６回室内楽演奏会　アンサンブル練度判定
第１音楽隊

第１音楽隊は１月22日、練馬駐屯地の合奏場において「第６回室内楽演奏会」を実施した。

本演奏会は、隊長がアンサンブル演奏の練度判定を行うとともに、毎年３月に実施している定期演奏会に向けた隊の中間目標としている。

当日は師団長の視察を頂くとともに、スカイプにより、師団管内へライブ配信を行い、隊員は、緊張感をもって演奏を実施し、１音は３月の定期演奏会（本年度は演奏検閲）に向け、一万全を期した。

合奏場にて練度判定

アンサンブル演奏を実施

師団訓練検閲を統裁・管理支援
第１師団司令部付隊

第１師団司令部付隊は１月24日から27日までの間、東富士演習場及び北富士演習場において、師団が実施した第１特科隊実射検閲に司令部勤務班及び隊本部の要員46名が参加し、統裁・管理支援等を行い、整斉・円滑な検閲の統裁に寄与した。

配食を支援する隊員

統裁を支援する付隊（中央：付隊長）

特技教育を実施
隊員へ必要な知識及び技能を付与

第１師団は基本特技を保有する隊員に対して、各職種において必要な知識及び技能を修得するため、初級偵察、部隊無線電信・部隊暗号及び施設機械操作教育をそれぞれ実施した。

【初級偵察】

第１偵察隊は、令和３年１月12日から２月26日までの間、練馬駐屯地等において陸士特技課程「偵察」を担任・実施した。本教育は隊員に斥候員として必要な知識及び技能を付与するとともに、偵察隊員としての資質を涵養することを目的として行い、各隊員は教育終了後、斥候員として各部隊において活動する。教育に参加した１偵　藤田１士は「最初は不安もありましたが学生同士で団結・協力することにより最後までやり遂げることができました。今後は、教育で得た知識や技術をさらに磨き、部隊に貢献していきたいです」と話した。

【部隊無線電信・部隊暗号】

第１通信大隊は、令和３年１月12日から３月５日までの間、練馬駐屯地において陸士特技課程「部隊無線電信・部隊暗号」を担任・実施した。本教育は隊員に無線電信手及び暗号電信手としての必要な知識及び技能を付与するとともに、通信科隊員としての資質を涵養することを目的として行い、各隊員は教育終了後、無線電信手及び暗号電信手として各部隊において活動する。教育に参加した第１後方支援連隊　補給隊　今井士長は「私は受信術が苦手でしたが、零細時間を使用し、多くの符号を聞くことにより、徐々に練度が上がりました。今後は、教育で修得したことを活かして、部隊で戦力となれるように、引き続き頑張ります」と話した。

【施設機械操作】

第１施設大隊は、令和３年１月18日から３月18日までの間、朝霞駐屯地において陸士・初級陸曹特技課程「施設機械操作」を担任・実施した。本教育は隊員に施設機械操作に必要な知識及び技能を付与するとともに、施設科隊員としての資質を涵養することを目的として行い、各隊員は教育終了後、施設機械（ドーザ、油圧ショベル等）の操作員として各部隊において活動する。教育に参加した１施大本部管理中隊　篠原士長は「少しでも練度を向上させるため、他の隊員の良いところを参考にし、自分のものにする努力をしました。今後は、各種機材の特性や使用上の注意を熟知し、安全・迅速な操作ができるよう頑張っていきたいです」と話した。

偵察教育（コンパス行進）

偵察教育（懸垂降下訓練）

無線教育（中間試験）

暗号教育（中間試験）

施設機械操作教育（小型ショベルドーザの操縦）

車両無事故表彰３級表彰

第１後方支援連隊
２等陸曹
早坂　義行

業務改善提案４級表彰

第１普通科連隊
２等陸曹
田中　大介

新着任部隊長紹介
第１師団司令部付隊長
３等陸佐　東畑大輔

CSMコーナー

師団検閲時の除染活動

大量傷病者受入訓練での除染活動

第１特殊武器防護隊
先任上級曹長
陸曹長
岡崎　武道

２月１日付で第１特殊武器防護隊先任上級曹長を拝命した岡崎曹長です。

１都６県の防衛・警備、災害派遣等の任務を有する第１師団唯一の対特殊武器戦専門部隊の先任上級曹長上番にあたり、その責任の重さに身が引き締まる思いです。

第１特殊武器防護隊は平成22年３月に創隊し、その間、日本の首都防衛を担う部隊として重要な役割を有するとともに、平成23年３月に発生した東日本大震災における原子力災害派遣などの活動実績もあります。

そのため、先任上級曹長上番にあたり、人を育て、強い部隊の育成に努め、下意上達、上意下達等の効果的な指揮官補佐を行いたいと考えています。また、曹士の最上位者としてリーダーシップを発揮し、隊員と苦楽を共にし、隊員のため、そして部隊の任務達成のため、先頭に立ち全力で先任上級曹長の職を全うしたいと思います。

今後とも各部隊と力を合わせて精強第１師団のために頑張っていきます。

退官者紹介

第１普通科連隊

第１中隊
准陸尉
須藤　裕文

第１中隊
准陸尉
吉野　幸男

第32普通科連隊

本部管理中隊
准陸尉
川崎　時治

第４中隊
１等陸曹
石井　敦

第１後方支援連隊

第１整備大隊
火器車両整備中隊
陸曹長
田中　陽一

第２整備大隊
特科直接支援隊
陸曹長
加藤　嘉勝

第１戦車大隊

本部管理中隊
准陸尉
千枝　正人

衛生隊
陸曹長
小西　多恵

第１高射特科大隊

本部管理中隊
１等陸曹
鷲尾　孝

衛生隊
陸曹長
齋藤　忠

隊員家族紹介

自衛官の妻として

第１特科隊　本部管理中隊
宮本２曹　妻

主人とは、福岡と山梨の遠距離恋愛を経て3年目に結婚しました。結婚して福岡から山梨へ引越しをした時は、地理感もなく、知り合いもいない所だったので、とても不安でしたが、結婚生活が始まってからは、主人の職場の方や、私の新たな職場における新しい出会いがたくさんあり、2年が経った今では毎日とても楽しい日々を過ごしています。

災害等があった時は長期不在になることもあり、寂しく心配にもなりますが、困っている方々を救う仕事をしていると思うと、とても素晴らしいお仕事だなと本当に誇らしく思います。睡眠もなかなかとれず、疲れを溜めて帰宅する時もありますが、主人が帰宅した時はゆっくり休める環境と、家族全員が笑顔で『お帰りなさい』と迎えられるような明るい家庭を築いていきたいと思います。

今後も、自衛官の妻として主人をサポートし、誰よりも近い存在で応援していきたいです。

結婚式でのロケーション撮影

かっこいいパパへ

第１特科隊　本部管理中隊
藤原１曹　長男

ぼくは、いっしょうけんめい仕事をがんばっているパパが大好きです。地震のときに困っている人を助ける自衛隊のパパはすごくかっこいいです。ぼくもパパみたいに強くなりたいです。これからもかっこいいパパでいてね。

家族旅行で記念撮影

人としてさらに成長を

第１特殊武器防護隊
服部１士　父

自衛隊に入隊し、早いもので1年が経とうとしています。

二男が高校生のとき「自衛隊へ行く」と言い出しました。思ってもみない言葉に私は「何で?」と驚き、突然の入隊宣言にどうしていいのかわかりませんでした。これまで私は自衛隊のことを特に意識したことがなく、国を守ることが仕事という漠然としたイメージしかありませんでしたが、報道などで自然災害や感染症などで自衛隊が活躍する姿を拝見し、役割の重要さを感じるようになりました。

三人兄弟の真ん中で育ち、兄の背中を追いかけて遊んでいた二男の小さい頃を思い出すと、自衛官になるなんて想像できないし、思ったこともありませんでした。

当初、厳しい環境の中に送り出すことに不安や戸惑いがありましたが、進むべき道を見定めた決意を尊重し、応援するしかないと思いました。これからも感謝の気持ちを忘れず、健康に留意しながら精一杯がんばってください。そして日頃の任務や活動を通じ、人として更に成長することを願っています。

家族で集合写真

家族の誇り

第１特殊武器防護隊
齋藤１士　母

一昨年の夏、突然「自衛官になりたい」と相談され、大変驚いた事を覚えています。

高校では野球部で３年間頑張った息子ですが、厳しい自衛隊の訓練や任務、集団生活に耐えられるのだろうかと、漠然とした不安を感じました。そんな折、受験を控えた年末に、大宮駐屯地の家族イベントに親子揃って招待して頂きました。駐屯地内を案内して頂いたり、化学科の２等陸士の新隊員の方から、入隊後の生活や進路について詳しくお話を伺うことができました。自衛官の任務を理解する良い機会になり、息子もこのご縁がきっかけで化学科を希望し、念願叶って現部隊に配属されることになりました。

６か月の訓練期間を無事終え、同期の友人たちと楽しそうに連絡を取り合っており、民間企業では得られない豊かな友人関係を築いています。見た目もだんだんと逞しくなり、人間的にも成長していく姿を見るたびに、今では自衛官になって良かったと、家族皆心から応援しております。

母と記念写真

隊員自主募集ご協力のお願い
一般曹候補生・自衛官候補生の応募資格が改正！
18歳以上33未満の男女
自分たちの「同僚・後輩は自らの手で」
隊員の皆様のご協力が必要です。

悩み相談	０１２０－１８４８－３８
心理相談（第１師団心理幹部）	８－３１－２２１５
法律相談（第１師団法務官）	８－３１－２２６６
倫理相談（第１師団法務官）	８－３１－２２６５
「うつ」隊員等のサポート	０１２０－８３４－９３９

【お知らせ】
開館時間は平日の9時から15時までです。
お申し込みは2週間前までにご連絡下さい。